

敦賀気比保健だより 11月号 保健室

保健委員会 NIE 講習会 (新聞切り抜き作品作り講習会) を開催しました。

2022年(令和4年)10月21日(金曜日)



過去の受賞作品を紹介する伊藤さん「敦賀市の敦賀気比高で

中日新聞

福井

上手な切り抜き コツ伝授

本社事務局 敦賀気比高でコンクール向け講座



二〇二二年度の「新聞切り抜き作品コンクール」(中日新聞社、日刊県民福井主催)に向けた講座が二十日、敦賀市の敦賀気比高校三年の保健委員三十三人が新聞への理解を深めた。保健委員は保健だより製作の一環で毎年コンクールに参加しており、講座は同校の依頼で開催。中日新聞社NIE事務局の伊藤彰敏さん(左)が講師となり、見出しの考え方や紙面レイアウトのコツなど、上手な切り抜き作品の作り方を説明。「ぜひ中日大賞に輝く作品を作って」と語りかけた。

参加した高校二年の北方結女さん(右)は「新聞が読者のことを考えて作られていることがわかった。読む人に思いが伝わる作品を作りたい」と話した。

コンクールは小学校、中学校、高校とチャレンジ部門の計四部門があり、来年一月十日まで作品を募集。同月に受賞者が発表される。(林侑太郎)



保健委員会では、毎年、「新聞記事で保健だよりを作ろう」をテーマに新聞切り抜き作品を制作しています。前期の作品は、気比校祭で展示しました。見てくれましたか？
後期の作品は、12月の三者懇談時に展示します。ぜひ、見てくださいね。
また、保健委員以外でも、「作ってみたい！」という人を募集しています。
実は、作品は、校内で展示するだけではありません。中日新聞社主催の「新聞切り抜き作品コンクール」に応募します。上位入賞者は、名古屋の中日新聞本社での表彰式と立食パーティにご招待。
興味のある人は、各クラスの保健委員または、保健室に声をかけてください。

保健委員の作品制作は、もうスタートしています。どうぞ期待！

中日新聞社「新聞切り抜き作品コンクール」

「新聞切り抜き作品」とは、毎日の新聞の中から興味や関心のあるテーマに沿った記事を切り抜いて集め、模造紙（B紙）に貼り付けて、見出しや意見・感想を書き入れて完成させる「世界で一つだけの新聞」です。

作品作りを通じて、新聞を毎日読むことで、知らず知らずのうちに、「読解力」や「語彙（ごい）力」「文章力」が向上していきます。社会のさまざまな情報に関心が広がり、記事を集めて分類・整理し、コメントやまとめを書くことで深い思考力も養われます。記事を分かりやすく配置し、的確な見出しをつけることで表現力も培われます。

中日新聞が独自に開発した学習方法で、作品を中部9県（愛知、岐阜、三重、静岡、滋賀、長野、福井、石川、富山）の小・中・高校生から募集しています。コンクールは1994（平成6）年から始まり、四半世紀以上の伝統があります。

第28回（2021年度）コンクールには、新たに設けた半分サイズの「チャレンジ部門」も含め、3901点の応募がありました。このうち優秀作品を以下に掲載します。頑張れば、皆さんもこのような素晴らしい作品を仕上げることができます。参考にして、ぜひ取り組んでみてください。

<https://www.chunichi.co.jp/info/nie/concours> 中日新聞社NIEホームページよりー

本校の過去の受賞作品

